

2025 年 3 月 25 日

糖尿病代謝内科／免疫・内分泌内科の肥満減量プログラムを受けられた患者さんへ

「肥満症治療における減量が筋力および筋肉量に与える影響の研究」への協力のお願い

糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2020 年 2 月 1 月から 2025 年 3 月 31 日の間に当科において、肥満減量プログラムを受けられた方で以下に合致する方が対象です。

- 2020 年 2 月 1 月から 2025 年 3 月 31 日までの 18 歳以上の肥満症と診断された当院患者さんで減量プログラムへの参加に同意した方
- 性別は問いません
- 入院・外来を問いません

除外基準として、以下の方は対象に含まれません。

- 他疾患で他科入院となった方
- その他、医師の判断により対象として不適当と判断された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的・方法：

肥満症の中で、特に内臓脂肪蓄積型肥満は、糖尿病や高血圧、脂質異常症をはじめとした健康障害を生じ、冠動脈疾患や脳血管疾患のリスク因子として減量治療を要する疾患です。そのほか、腎臓病や膝、腰などの運動器の疾患を生じることがあります。近年では体重に比べて筋肉量が少ない「隠れ肥満」なども問題となっていますが、現状では減量の過程で筋肉量の低下を避けることは難しいとされています。そこで、どのような方法が筋力や筋肉量を下げずに体重、脂肪を減らすことができるかを調べることにしました。

本研究の成果を国際論文で発表することにより、筋力や筋肉量を維持しつつ減量するために有効な方法がわかるようになり、当院に通院中の方だけでなく、世界の肥満患者さんの治療に役立てることが出来ます。

研究に用いる試料・情報の種類：

年齢、性別、一般身体所見、身長、体重、BMI、体組成、糖尿病・高血圧症・脂質異常症罹患の有無、糖尿病治療薬の情報、指示エネルギー量、体重当たりの蛋白摂取指示量、受

診率、食事・運動・心理指導の指導回数、血液検査結果（HbA1c, TG, HDL-C, LDL-C）、握力について、電子カルテのデータを利用して使用させていただきます。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。

また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻内科学講座 糖尿病・内分泌代謝内科学/膠原病・免疫内科学

大学院生 堀谷 愛美

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻内科学講座 糖尿病・内分泌代謝内科学/膠原病・免疫内科学

Tel : 058-230-6377

Tel : 058-230-6000（夜間・休日）

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻内科学講座 糖尿病・内分泌代謝内科学/膠原病・免疫内科学

准教授 加藤 丈博

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp